



生物多様性条約COP13記者会見集合写真

任意団体 国連生物多様性の10年市民ネットワーク

「国連生物多様性の10年」 NGOプラットフォーム 構築事業

一般助成

2年目

国際会議

SBSTTA20/SBI1及び
COP13での提言

6文書・項目

国際会議での提言活動に関する
能力開発・プログラム開発、
ヒアリング

9地域

活動の全体目標に
対する達成度

55%

課題

生物多様性の認知度低下と保全団体のリソース不足に対し、国際会議の場での協働を進めることでその解決を図るため、全国のNGOをネットワークし、その能力開発を行う。

活動内容

生物多様性条約締約国会議等において、国内外のNGOを中心とした多様な主体と連携して生物多様性の保全がより効果的に行われるよう提言を行い、会議の結果を国内に展開する。「愛知ターゲット」達成年の2020年を見据えた活動の強化のため、主要議題別に国際会議への提言の議論と取りまとめ、セミナー等で能力開発し、メルマガ・Webサイト・Facebook等の電子媒体及び提言書・論説集等の紙媒体により情報発信する。



生物多様性条約COP13
参加報告書

今後の課題

専門性や組織運営力を持つメンバーが限られており、活動が十分に拡大できていない。会員に対して、新規テーマグループの立ち上げを促し、その運営を支援し、将来的には自立できるように能力開発を進める。

成果と工夫した ポイント



成果

これまで活動してきたメンバーに加え、新たに立ち上げた四国地域ネットワークや新規加入の団体会員からもCOP13に参加し、情報収集と提言活動に加えてサイドイベントやプレスリリースを実施できた。

工夫

当会主催の会員向け勉強会・一般向けシンポジウムを継続・拡大し、活動に参画するメンバーの拡大を図った。